

冬休み推薦図書

平成 30(2018)年 12月(高校生版)

図書館運営委員会 作成

冬休み中の推薦本を紹介します。話題になった本や読み物・小説を中心に紹介しています。また、みなさんに配布している「読書の旅、羅針盤」の冊子も本選びの参考にしてください。

「冬休み推薦図書リスト」や「読書の旅、羅針盤冊子」で紹介しているものは本校図書館所蔵の本で、近所の図書館や書店においていない場合もあります。興味のある人は図書館まで借りにきてください。



冬休み貸出

12月14日(金)～

※1人5冊まで

1月8日(火)までに

返却



冬休み開館日

12月25日(火)

～28日(金)

1月5日(土)・7日(月)



冬休み開館時間

平日:午前9時

～午後2時

土曜日:午前9時～正午

日曜・祝日:閉館



—昭和学院中学校・高等学校—

高校版

(＊のマークは、★：読みやすい、☆：おすすめ、◎：読みごたえあり)

No.	NDC	書 名	著 者 名	出 版 社	出版年
＊		お す す め コ メ ン ト			
1	019	本が好き	安野 光雅	山川出版社	2017
★	ア	美術のみならず、科学・数学・文学などにも造詣が深く、豊かな知識と想像力を駆使して独創性あふれる作品を発表してきた画家、装幀家、絵本作家。読んできた書物の中から、あまり知られてはいないが名著と呼ばれるようになると思われる本を厳選して紹介している。			
2	291	新・利根川図志(上)(下)	山本 鉱太郎	崙書房出版	1997
◎	ヤ	江戸時代の茨城県利根町の医師、赤松宗旦の『利根川図志』は利根川沿いの土地土地の歴史や民俗、伝説などを地図、挿絵入りで描いた名作。奥利根の源流から、河口の銚子まで歩いて、たくさんの写真や地図を入れ、現代の『利根川図志』を目指した。			
3	471	スイカのタネはなぜ散らばっているのか	稲垣 栄洋	草思社	2017
☆	イ	靴の裏にくっついて移動するオオバコタネ、カビから栄養分を奪って発芽する蘭のタネ。すべての植物は、子孫を残し、繁栄していくために「タネ」に秘密を持っている。			
4	723	ファン・ゴッホの生涯(上)(下)	スティーヴン・ネイフ グレゴリー・ホワイト・スミス	国書刊行会	2016
◎	ネ	あまたの伝説に彩られた画家フィンセント・ファン・ゴッホの波瀾に満ちた生涯を、圧倒的な精密さと感動的な筆致で描き出した、ピューリッツァー賞受賞コンビによるゴッホ伝。			
5	762	ティンパニストかく語りき	近藤 高顕	学研プラス	2017
☆	コ	何気なく買ったLPのアンケートはがきに答えた著者のもとに、ベルリン・フィル演奏会のチケットが届いた。国際的ティンパニ奏者となるまでのオーケストラ人生を裏話を交えて語る。			
6	791	日日是好日 「お茶」が教えてくれた15のしあわせ	森下 典子	新潮社	2008
★	モ	20歳になって初めて茶道のお稽古を体験した著者。それから25年間続けてみると見えてくるものがあつた。茶道とともに著者の日々の生活やできごとともふり返る。茶道の世界へようこそ。			
7	910	屋根の上が好きなの兄と私	栗原敦/監修 宮澤明裕/編	蒼丘書林	2017
☆	ミ	宮澤賢治に関しては、もう新資料は出尽くしたとされていたが、賢治の妹・岩田シゲの回想録が発見された。『永訣の朝』の詳しい様子がわかる大発見だった。			

高校版

8	913	カレンダーボーイ	小路 幸也	ポプラ社	2010
★	シ	ある日目覚めたら、38年前の小学5年生に逆戻り。社会人となった同級生二人が過去と現代を行き来するようになる。二人は、過去を変えることで里見ちゃんを救えるのではないかと気づく。あたたかなそして切ない物語。			
9	913	すべては平和のために	濱野 京子	新日本出版社	2016
☆	ハ	国と国との戦争がなくなり、各地の紛争は企業が調停するようになった近未来。女子高生、平井和菜は高3の夏、南の海に浮かぶ小さな島、アイロナ共和国の内紛を解決するための調停員に指名された。			
10	913	桜風堂ものがたり	村山 早紀	PHP研究所	2016
☆	ム	本屋の販売員にやりがいを感じていた主人公は、ある時、万引き少年の事件をきっかけに店を離れることになってしまう。これを機会に、ずっとメールを通して交流を深めていた田舎の本屋店主に会いに行くことを決意したが、そこで新しい出会いがまっていた。			
11	913	淳子のでっぺん	唯川 恵	幻冬舎	2017
☆	ユ	女性として初めて、世界の最高峰エベレストと七大陸最高峰の登頂に成功した登山家、田部井淳子がモデルの長編小説。作者が本人に執筆の承諾をとり、淳子も愛読していたが、新聞連載中の2016年10月20日に死去。山登り番組の優しいお人柄が懐かしい。			
12	915	フーテンのマハ	原田 マハ	集英社	2018
☆	ハ	敬愛する寅さんにちなんでフーテンを自認し、日本のみならず、世界中を飛び回って旅をする原田マハの取材旅行エッセイ。			
13	933	雪のひとひら	ポール・ギャリコ 矢川 澄子/訳	新潮社	2008
☆	ギ	主人公は雪。空でうまれて消えてなくなるまでを描いている。まるでひとりの女性の一生のように描かれているところが読みやすい。美しい自然の描写にもイメージを膨らませることができる。			
14	933	クリスマス・キャロル	ディケンズ 村岡 花子/訳	新潮社	2011
◎	デ	裕福だが人嫌いのスクルージ老人は、ずっと周囲の人と接することを避けてきたし、困っている人がいても助けなくて生きてきた。あるクリスマス・イヴの夜に昔の仕事仲間が亡霊になって現れた。老人に何を伝えにきたのか？愛と感動のクリスマスの名作。			
15	933	賢者の贈りもの O・ヘンリー傑作選Ⅰ	オー・ヘンリー 小川 高義/訳	新潮社	2014
☆	ヘ	クリスマスに贈り物をしたいと考えた貧しい夫婦は、それぞれの大切なものを売ってプレゼントを用意した。お互いに驚き、真実を知ったとき、ふたりには贈りもの以上の喜びが待っていた。心温まる物語。他にも短編集掲載。			